

T cell Immunological Signatures of Peripheral Blood Mononuclear Cells in Hen' s Egg Allergic Children

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-07-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 杉本, 圭 メールアドレス: 所属: |
| URL | https://doi.org/10.20780/00033282 |

学位論文の要旨

T cell Immunological Signatures of Peripheral Blood Mononuclear Cells in Hen' s Egg Allergic Children

(鶏卵アレルギーの子供における末梢血単核細胞の T 細胞免疫学的特徴)

東京女子医科大学大学院

内科系専攻小児科学分野

(指導：永田智教授)

杉本 圭

Tokyo Women' s Medical University Journal に受理

【要 旨】

IgE 抗体関与卵白アレルギーの発症と寛解のメカニズムの解明の一助として、卵白アレルギー児由来の末梢単核球 (PBMC) の *in vitro* におけるオボアルブミン (OVA) への反応を分子生物学的に解析した。

2019 年 12 月から 2020 年 9 月までに当院を訪れた卵白アレルギー児から得た PBMC を *in vitro* で OVA にて 48 時間刺激し、*realtime-PCR* により、OVA 刺激を受けて増殖する際に発現する STAT シグナルおよび核内転写因子の mRNA の発現を検索した。

卵白アレルギー持続群 24 例、寛解群 12 例、対照群 22 例の解析をおこなった。持続群の PBMC は OVA と共培養したところ、STAT1, STAT4, Foxp3, STAT3 の mRNA レベルの発現量が、対照群に比して有意に低下していた。寛解群の PBMC は、同様の刺激で STAT4, T-bet, STAT6, GATA3, STAT5, Foxp3, STAT3, ROR γ t の mRNA の発現量が、持続群に比して有意に増加していた。

卵白アレルギーの発症および寛解の段階で、dynamic な effector T cells の機能的変化がおこっており、発症には Th2 細胞の相対的な活性化が関与している可能性が示唆された。